

RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータでの新しいVoIPサービスの作成とQuality of Services(QoS)の維持

目的

Voice over Internet Protocol(VoIP)は、インターネットなどのInternet Protocol (IP ; インターネットプロトコル) ネットワークを介して音声コールを伝送する方法です。

このドキュメントでは、RV042、RV042G、およびRV082 VPNルータで新しいVoIPサービスを作成し、Quality of Services(QoS)を維持する方法について説明します。

適用可能なデバイス

- ・ RV042
- ・ RV042G
- ・ RV082

[Software Version]

- ・ v4.2.1.02

手順

セッション開始プロトコル(SIP)の設定

注:VOIPサービスに使用するポートについては、VOIPサービスプロバイダーのWebサイトを参照してください

ステップ 1 : RV042ルータのグラフィカルユーザインターフェイス(GUI)を使用して、System Management > Bandwidth Management.の順に選択します。

Interface : WAN1 WAN2

Service : All Traffic [TCP&UDP/1~65535] ▼

Service Management

IP : to

Direction : Upstream ▼

Min. Rate : Kbit/sec

ステップ 2 : Service managementタブをクリックします。

Service Name : VOIP 1

Protocol : TCP ▼ 6

Port Range : to

Add to list

ステップ 3 : サービス管理ページで、Service managementをクリックし、Service Nameフィールドにサービスの名前 (VOIP 1など) を入力します。

ステップ 4 : Protocolドロップダウンメニューから、VOIPサービスで使用されるプロトコルを選択します。該当するプロトコルについては、VOIPサービスプロバイダーのマニュアルまたはWebサイトを参照してください。一部のVoIPデバイスはUDPプロトコルを使用します。

| | |
|--|--|
| Service Name : | <input type="text" value="VOIP 1"/> |
| Protocol : | <input type="text" value="UDP"/> <input type="text" value="17"/> |
| Port Range : | <input type="text" value="5060"/> to <input type="text" value="5070"/> |
| <input type="button" value="Add to list"/> | |

ステップ 5 : Port Rangeで、Session Initiation Protocol (SIP ; セッション開始プロトコル) の範囲を入力します。このプロトコルは、音声通信セッションを制御するために使用されます。ポート範囲は5060 ~ 5070で、すべてのアクティブポートをカバーします。適切なSIP範囲については、VoIPサービスプロバイダーの指示を参照してください。

手順 6 : Add to Listをクリックして、設定済みのサービスを追加します。

手順 7 : RTPプロトコルの2番目のサービスを追加するには、Service Nameフィールドに名前を入力します。このサービスは、着信トラフィックと発信トラフィックの両方に必要です。たとえば、ポート範囲10000は、すべてのアクティブポートがカバーされていることを25000認めます。ステップ2 ~ 6に従って、RTPプロトコルの設定を完了します。

ステップ8:Add to list> OKの順にクリックして、サービスを追加します。

ステップ9:Saveをクリックして設定を保存します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。